iCOM

コントロールソフトウェア バージョンアップ説明書
IC-PCR1500 IC-PCR2500

このたびは、弊社ダウンロードサービスをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、IC-PCR1500/IC-PCR2500のコントロールソフトウェアのバージョンアップ手順について説明しています。
必ず本書をよくお読みになってから、バージョンアップをはじめてください。

本書では、Windows® 7を例に説明します。
※Windows Vista®の場合は「IC-PCR1500/IC-PCR2500補足説明書(②)」を、Windows® XPの場合は取扱説明書をご覧ください。

■ バージョンアップソフトウェアについて

弊社ホームページからダウンロードしたバージョンアップソフトウェアをダブルクリックすると、自己解凍します。
解凍して生成された「CD-287901-xxx*」フォルダー内の「Pcr1500_2500」フォルダーに、「Setup.exe」が格納されています。

*xxxは、バージョンによって異なります。

■ メモリーファイルの移動について

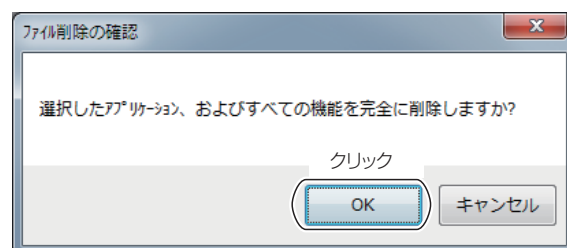
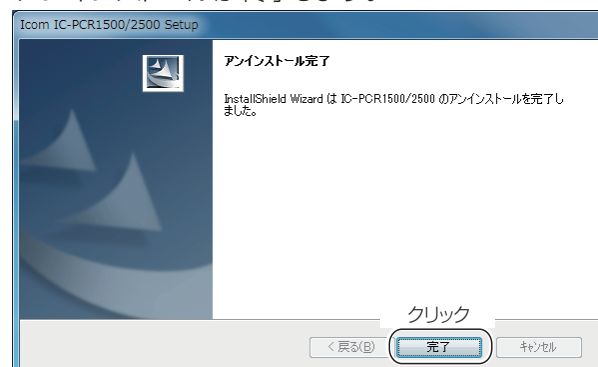
コントロールソフトウェアをアンインストールするとき、「ドキュメント★」内の「Icom」-「IC-PCR1500_2500」フォルダーのプリセットメモリーファイル(preset_j.mch)も同時にアンインストールされます。
プリセットメモリーファイルには、お客様がIC-PCR1500/IC-PCR2500で書き込んだ内容が保存されています。
バージョンアップ後も、書き込んだ内容で運用する場合は、そのプリセットメモリーファイルを任意の場所に移動させてください。
※Windows® 7/Windows Vista®をお使いの場合、3ページの「Windows® 7/Windows Vista®の「互換性ファイル」スイッチについて」もあわせてご覧ください。

★Windows® 7/Windows Vista®以外のOSをお使いの場合は、「マイドキュメント」に読み替えてください。

■コントロールソフトウェアのアンインストールについて

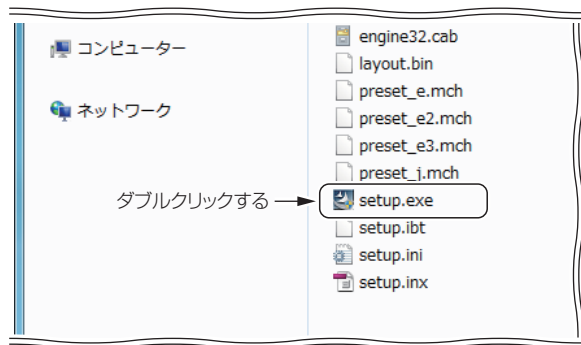
コントロールソフトウェアをバージョンアップする前に、現在ご使用中のIC-PCR1500/IC-PCR2500コントロールソフトウェアを下記の手順でアンインストールしてください。

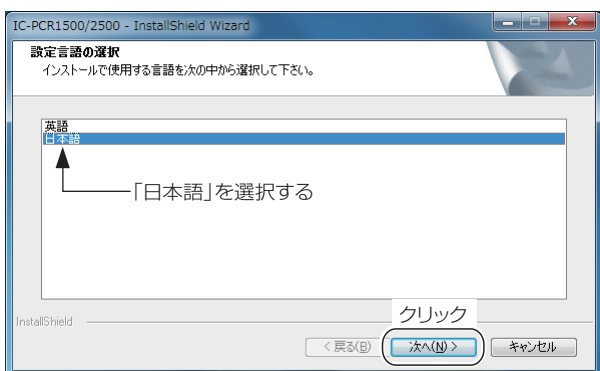
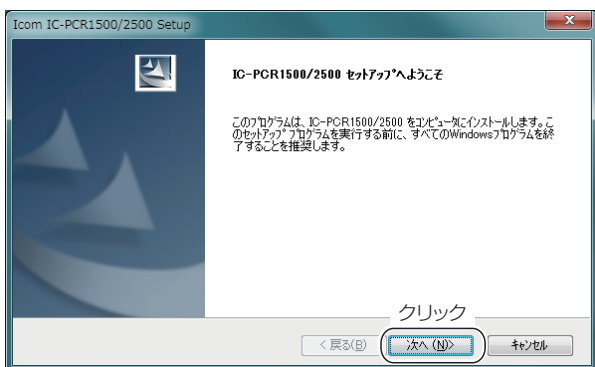
① 起動しているアプリケーションをすべて終了します。
② [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックします。
③ [プログラムのアンインストール]をクリックします。
④ 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。
「Icom IC-PCR1500/2500」をダブルクリックします。

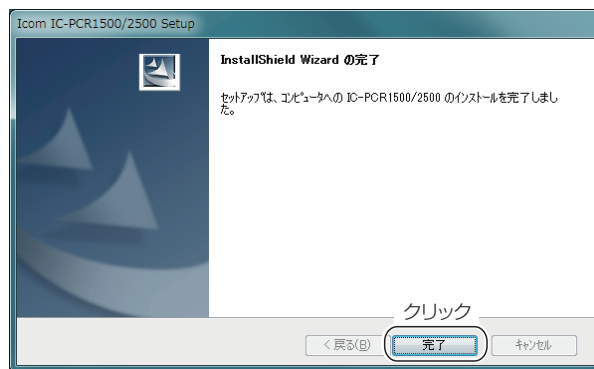
⑤ 「ファイル削除の確認」画面が表示されます。
[OK]をクリックすると、アンインストールがはじまります。
※アンインストール中は、「セットアップ ステータス」画面を表示します。

⑥ アンインストールが完了すると、「アンインストール完了」画面が表示されます。
[完了]をクリックすると、コントロールソフトウェアのアンインストールが終了します。

■IC-PCR1500/IC-PCR2500コントロールソフトウェアのインストールについて

①起動しているアプリケーションをすべて終了します。

②最新版コントロールソフトウェアのインストーラーが保存されているフォルダー(「CD-287901-xxx*」フォルダー内の「Pcr1500_2500」フォルダー)を開きます。
*xxxは、バージョンによって異なります。

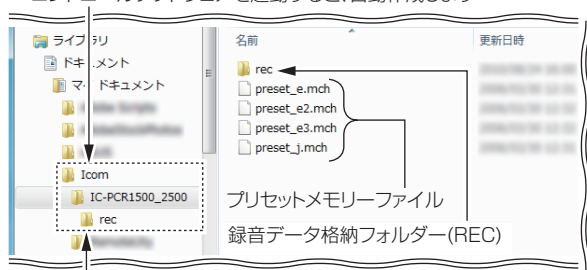
③「Setup.exe」をダブルクリックします。
※「InstallShield Wizard の開始」画面が表示されます。

④「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、[はい(Y)]をクリックします。

⑤「設定言語の選択」画面が表示されますので、「日本語」を選択して、[次へ(N)>]をクリックします。
※「セットアップの準備」画面が表示されます。

⑥「IC-PCR1500/2500セットアップへようこそ」画面が表示されます。
[次へ(N)>]をクリックします。

⑦「インストール先の選択」画面が表示されます。
[次へ(N)>]をクリックすると、インストールが始まります。

⑧「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。
[完了]をクリックすると、インストールは完了です。
※IC-PCR1500_2500のショートカットが、デスクトップとスタートメニューに追加されます。

■ プリセットメモリーファイル(preset_J.mch)を移動させたとき

プリセットメモリーファイルを移動させたときは、下記手順にしたがって、「ドキュメント★」内の「Icom」-「IC-PCR1500_2500」フォルダーに戻してください。
※プリセットメモリーファイルを移動させずにご使用になる場合は、手順④だけを操作してください。

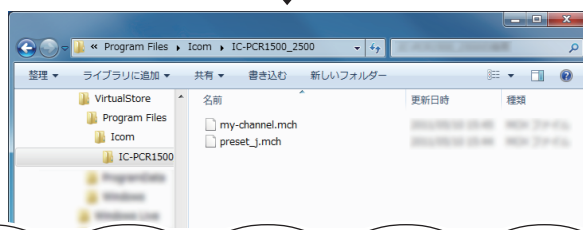
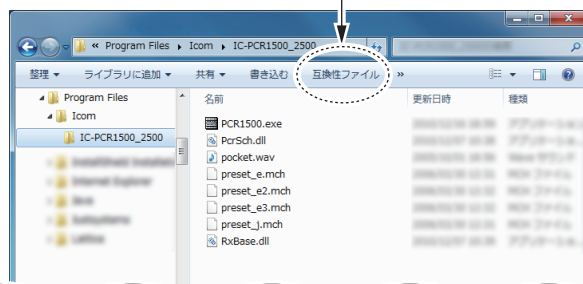
① コントロールソフトウェアを一度起動し、終了させてください。
② 移動させたプリセットメモリーファイル(preset_j.mch)を、「ドキュメント★」内の「Icom」-「IC-PCR1500_2500」フォルダーに戻してください。
③ コントロールソフトウェアを起動してください。
④ ツールバーからMemory Channel Editorを開き、[File]-[Open]の操作からプリセットメモリーファイルを選択して、コントロールソフトウェアに読み込んでください。

コントロールソフトウェアを起動すると、自動作成します

「ドキュメント★」内に「Icom」-「IC-PCR1500_2500」フォルダーが作られます。
その中に使用していたプリセットメモリーファイルを移動してください。

★Windows® 7/Windows Vista®以外のOSをお使いの場合は、「マイドキュメント」に読み替えてください。

■ Windows® 7/Windows Vista®の「互換性ファイル」スイッチについて

コントロールソフトウェアを使って、インストールしたプリセットメモリーファイル(初期状態では「C:¥Program Files¥Icom¥IC-PCR1500_2500」に格納)を上書き、コピーしたとき、エクスプローラに「互換性ファイル」スイッチが出現している場合があります。
上書き、コピーしたプリセットメモリーファイルは、「VirtualStore」フォルダーに格納されており、そのスイッチをクリックすると、「VirtualStore」フォルダーに切り替わります。

エクスプローラー上に「互換性ファイル」スイッチが表示された場合、このボタンをクリックしてください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

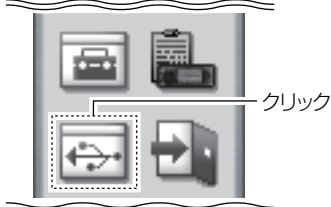
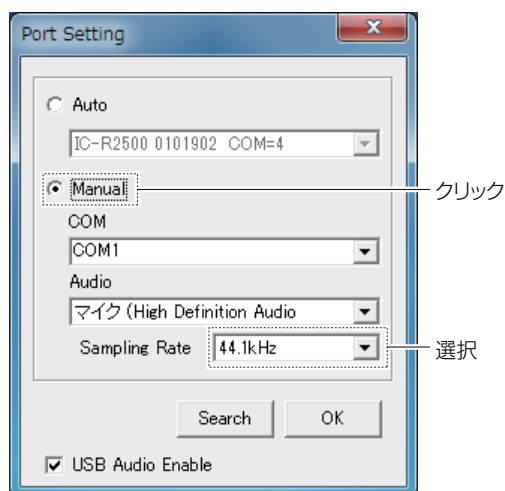
高品質がテーマです。
A-6470-8J © 2011 Icom Inc.

IC-PCR1500/IC-PCR2500の追加機能について

■ COMポート/オーディオデバイス/サンプリングレートの手動設定のしかた

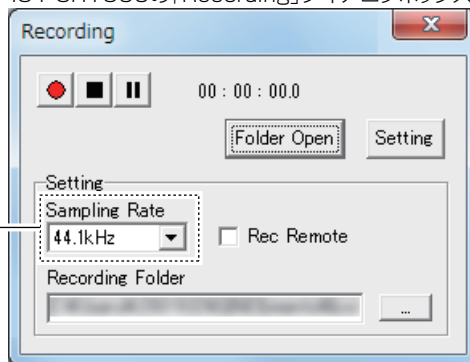
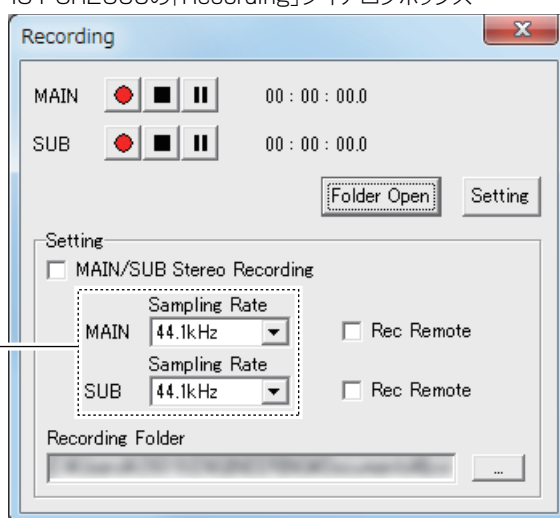
コントロールソフトウェアをVer.2.20にバージョンアップすると、COMポート、オーディオデバイス、サンプリングレートを手動設定できます。

①IC-PCR1500/IC-PCR2500を起動し、ツールバーの[Power](電源)アイコンをクリックして、本体ソフトウェアの電源をOFFにします。

②USBポート設定アイコンをクリックして、「Port Setting」ダイアログボックスを表示させます。

③「Manual」ラジオボタンをクリックして、「COM」(COMポート)、「Audio」(オーディオデバイス)、「Sampling Rate」(サンプリングレート)を設定します。
※サンプリングレートは、44.1kHz、22.05kHz、11.025kHzから選択します。

④[OK]をクリックすると、選択したCOMポートに接続されている受信機で動作します。
※[Search]をクリックすると、COMポートとオーディオデバイスを自動検出します。
※「USB Audio Enable」チェックボックスのチェックをはずすと、「Audio」(オーディオデバイス)、「Sampling Rate」(サンプリングレート)は選択できません。
また、録音ができなくなりますので、ご注意ください。

◎録音時のサンプリングレートについてのご注意

「Port Setting」ダイアログボックスで「Manual」を選択した場合、「Sampling Rate」で設定したサンプリングレートが、受信機から取り出すサンプリングレートに設定されます。
そのため、「Recording」ダイアログボックスで高いサンプリングレートを設定しても、「Port Setting」ダイアログボックスで設定したサンプリングレートが低い場合は、それに合わせて録音の音質は低くなります。

IC-PCR1500の「Recording」ダイアログボックス

IC-PCR2500の「Recording」ダイアログボックス

「Port　Setting」ダイアログボックスで設定したサンプリングレートに依存します。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。